

2009年7月17日

パソナグループ 2009年5月期 決算概要

- 景気減速に伴う企業の雇用調整により、人材紹介事業がマイナス成長の一方、再就職支援事業の需要は急激に拡大
- インソーシング(請負)事業やアウトソーシング事業も引き続き成長
- 人材派遣事業は、金融・輸出産業で新規需要が抑制され、稼働者数が減少する一方で、優秀人材の確保や長期安定化が進み、新たな派遣需要が見られるなど変化の兆し
- 派遣スタッフの健康保険料率の大幅引き上げ、有給休暇取得増加による原価増により売上総利益率が低下
- オフィス集約化に伴う特別損失等を計上し、当期純利益の減益幅が拡大
- 次期は下期にかけての業績回復を見込み、増収増益を計画

【1】連結業績概況 (2008年6月1日~2009年5月31日)

(百万円)

	2008年5月期	2009年5月期	増減	増減率
売上高	236,945	218,699	△18,245	△7.7%
売上原価 (売上比)	187,575 (79.2%)	175,114 (80.1%)	△12,460 (0.9%pt)	△6.6%
売上総利益 (売上比)	49,369 (20.8%)	43,585 (19.9%)	△5,784 (△0.9%pt)	△11.7%
販売費及び一般管理費 (売上比)	42,925 (18.1%)	40,735 (18.6%)	△2,190 (0.5%pt)	△5.1%
営業利益 (売上比)	6,444 (2.7%)	2,850 (1.3%)	△3,594 (△1.4%pt)	△55.8%
経常利益 (売上比)	6,637 (2.8%)	3,361 (1.5%)	△3,276 (△1.3%pt)	△49.4%
税金等調整前当期純利益 (売上比)	7,000 (3.0%)	2,885 (1.3%)	△4,114 (△1.7%pt)	△58.8%
当期純利益 (売上比)	2,962 (1.3%)	312 (0.1%)	△2,650 (△1.2%pt)	△89.4%
1株当たり当期純利益	7,109円95銭	834円30銭	△6,275円65銭	—

【2】事業セグメント別連結業績概況 (セグメント間内部取引消去前)

(百万円)

	2008年5月期	2009年5月期	増減	増減率	構成比	増減
人材派遣・請負、人材紹介	216,486	197,333	△19,153	△8.8%	90.2%	△1.1%pt
人材派遣・請負	208,810	191,412	△17,398	△8.3%	87.5%	△0.6%pt
人材紹介	7,676	5,921	△1,755	△22.9%	2.7%	△0.5%pt
再就職支援	5,858	5,794	△63	△1.1%	2.7%	+0.2%pt
アウトソーシング	13,732	14,725	992	7.2%	6.7%	+0.9%pt
その他	2,115	3,002	886	41.9%	1.4%	+0.5%pt
消去又は全社	△1,248	△2,155	△907	—	△1.0%	△0.5%pt
売上高合計	236,945	218,699	△18,245	△7.7%	100.0%	—
人材派遣・請負、人材紹介	5,056	3,291	△1,764	△34.9%	115.5%	+37.1%pt
再就職支援	1,377	1,025	△352	△25.6%	36.0%	+14.6%pt
アウトソーシング	1,883	2,135	252	13.4%	74.9%	+45.7%pt
その他	△26	12	38	—	0.4%	+0.8%pt
消去又は全社	△1,846	△3,614	△1,768	—	△126.8%	△98.2%pt
営業利益合計	6,444	2,850	△3,594	△55.8%	100.0%	—

※前連結会計年度下期より持株会社の費用が「消去又は全社」の中の全社費用として計上されています。

業績の概況

- 人材派遣、人材紹介事業の減収により、連結売上高は前年比 7.7%の減収
- 減収影響に加え、派遣スタッフの健康保険料率の大幅引上げ、有給休暇の取得増加の影響で原価が膨らみ、売上総利益は前期比 11.7%減、売上総利益率は 19.9%（前期比 0.9%ポイント減）
- 販管費については募集費、人件費等を中心に一層コスト削減を進めるも（前期比 2,190 百万円減）、売上総利益の減少をカバーするには至らず、連結営業利益は 2,850 百万円（前期比 55.8%減）
- 派遣スタッフの福利厚生制度の内容見直しによる収益（94 百万円、未使用ポイント整理益）、入居オフィス建て替えによる早期退去に伴う収益（78 百万円）などの営業外収益を計上し、連結経常利益は 3,361 百万円（前期比 49.4%減）
- 当社および一部子会社の役員退職慰労金制度を廃止し、打切支給を行わないこととしたため、特別利益として役員退職慰労引当金戻入額（637 百万円）を計上
- 子会社売却に伴う投資損失引当金繰入額（350 百万円）、グループオフィス全体の集約化に伴う固定資産の除売却損（256 百万円）、子会社の本社移転費用（166 百万円）を特別損失として計上し、連結税金等調整前当期純利益は 2,885 百万円（前期比 58.8%減）
- 税前当期純利益に対する連結子会社の少数株主持分利益の割合が増加したことから、連結当期純利益は 312 百万円（前期比 89.4%減）

人材派遣・請負、人材紹介事業（パソナ、パソナテック、パソナキャリア 他）

＜人材派遣・請負＞ ※月平均長期稼働者数、派遣職種別売上高… 5 ページ

- 輸出産業や金融業における新規需要の抑制、3月に顧客都合の契約終了が増加したことによる長期稼働者数の減少、派遣先企業の残業抑制等により、特に第4四半期において業績のマイナス幅が拡大
- 自由化職種の派遣可能期間満了に伴う契約終了影響もあり、特に営業・販売職が低調
- 足元では自動車産業や金融業において新規受注が下げ止まり、派遣契約の終了も一巡
- 優秀スタッフの確保が進み人材供給面での安定感が増大
- インソーシング（請負）事業は、組織改編や人員拡充などにより営業を強化、9,910 百万円（前期比 8.6%増）と着実に成長

＜人材紹介＞ 国内 4,954 百万円（前期比 9.4%減）、海外 966 百万円（前期比 56.3%減）

- 企業の人材採用抑制が顕著となり、昨年秋以降求人数の減少が継続
- 新規受注の人材ニーズの難易度が上がり、マッチングが難しく特に足元で厳しい推移
- 海外事業は事業再編に伴う連結子会社売却影響により大きく減収

＜人材派遣・請負、人材紹介セグメント営業利益＞

- 減収影響に加え、派遣スタッフの健康保険料率の大幅引上げや有給休暇取得日数の増加などから売上総利益率が低下、募集費や人件費を中心に販管費を抑制するも及ばず営業利益が減少

再就職支援事業（パソナキャリア 他）

- 景気悪化を受けて企業の雇用調整が進み、特に第4四半期において需要が増大
- 人材紹介部門からの人員配置転換によりコンサルタントを増員し営業体制を強化
- 第4四半期の受注案件の一部の売上計上が次期にずれ込み減収減益

アウトソーシング事業（ベネフィット・ワン）

- 法人会員への提案営業を推進し、ワークライフ・バランスに配慮した福利厚生サービスを拡大
- 「インセンティブ・カフェ」、「特定健診・特定保健指導(メタボ対応)サービス」など新規サービスが成長
- ガイドブック制作費等原価抑制が奏功し、営業利益が増加

その他事業

- 保育関連事業、語学教室運営などの教育事業、グループ内シェアードサービス会社等の売上を含む
- 当期より業務効率化を目的にシェアード化を推進したため売上が大幅増加

【3】 財政・投資の状況

● 財政の状況

(百万円)

	2008年5月期 期末	2009年5月期 期末	前期末比	
			増減	増減率
流動資産	41,213	37,358	△3,855	△9.4%
固定資産	17,300	18,110	809	4.7%
資産合計	58,513	55,468	△3,045	△5.2%
流動負債	26,731	28,834	2,102	7.9%
固定負債	2,313	1,485	△828	△35.8%
負債合計	29,045	30,319	1,273	4.4%
純資産	29,468	25,148	△4,319	△14.7%
自己資本比率	41.6%	35.4%	△6.2%pt	-
1株当たり純資産	58,363円62銭	54,751円17銭	△3,612円45銭	△6.2%

①主に受取手形及び売掛金の減少4,364百万円、敷金及び保証金の増加1,607百万円等による

②主な増減は短期借入金が増加6,289百万円、未払費用の減少2,301百万円、未払法人税等の減少1,266百万円等

③主に配当金の支払757百万円、自己株式の取得4,154百万円等による

● キャッシュ・フローの状況 現金及び現金同等物の期末残高14,120百万円（前期末比507百万円増）

(百万円)

	2008年5月期				2009年5月期				前期末比 増減
	Q1	Q2 累計	Q3 累計	Q4 累計	Q1	Q2 累計	Q3 累計	Q4 累計	
営業活動によるCF	△1,883	△865	203	5,974	△1,322	609	477	4,443	① △1,530
投資活動によるCF	△1,299	△2,211	△1,938	△2,968	△836	△1,856	△4,225	△4,966	② △1,998
財務活動によるCF	1,424	3,007	2,517	△980	641	△2,184	797	1,077	③ 2,058
フリーCF	△3,182	△3,076	△1,735	3,006	△2,159	△1,247	△3,748	△523	△3,529

①税金等調整前当期純利益は前期比4,114百万円減の2,885百万円。主に売上債権の減少による増加額4,356百万円、法人税等の支払額3,071百万円等による

②主に有形固定資産の取得による支出1,553百万円、無形固定資産の取得による支出1,654百万円、オフィス移転等による敷金及び保証金の差入による支出1,817百万円等による

③資金増加は主に短期借入金が増加6,289百万円、資金減少は主に自己株式の取得による支出4,490百万円、配当金の支払1,040百万円等による

【4】 2010年5月期（2009年6月1日～2010年5月31日）次期連結業績予想

足元の景気の先行指標はいずれも改善傾向にあり、経済環境は緩やかに改善すると見えています。一方、正社員を中心とする雇用環境は未だ顕著な改善の兆しが見られないことから、人材紹介事業においては厳しさが続くものの、企業におけるリエンジニアリング（業務フローや組織構造の再構築）に対する潮流は強く、インソーシング（請負）事業やアウトソーシング事業がさらに成長するとみえています。

人材派遣事業では新規の派遣需要が下げ止まっており、企業の人材戦略の見直し等による新たな派遣需要に加えて、優秀人材の供給力が全体的に向上していることから、新規需要を着実に派遣実績に結びつけることができると考えています。

当社グループはこうした企業ニーズを着実に捉えるべく、トータルソリューションサービス体制を早期に構築し、総合力の更なる強化を図ります。

利益面については、粗利率の高い人材紹介事業の減収や再就職支援事業の粗利率の低下により、連結全体の粗利率の低下を見込んでいますが、販管費については、東京・大手町にグループオフィスを集約し、間接部門を中心としたシェアード化を推進し、更に全体コストを削減する見込みです。

(単位：百万円/未満切捨)

連結	2009年5月期	2010年5月期						
	通期実績	通期予想	増減	増減率	上期	増減率	下期	増減率
売上高	218,699	224,390	5,690	2.6%	104,880	△9.7%	119,510	16.5%
営業利益	2,850	3,540	689	24.2%	690	△56.8%	2,850	127.7%
経常利益	3,361	3,690	328	9.8%	670	△62.9%	3,020	93.9%
当期純利益	312	1,010	697	223.1%	20	△90.2%	990	809.0%

人材派遣・請負、人材紹介事業

<人材派遣事業>

- 正社員採用抑制影響による、より専門化、複合化した派遣需要の回復が見込まれ、下期にかけて派遣稼働者数が回復する見通し
- 連結子会社の株式会社パソナテックを完全子会社化し、IT人材派遣の更なる拡大を目指す
- 株式会社三井物産ヒューマンリソースを本年7月に吸収合併し、貿易事務分野の派遣を強化
- 地方自治体や大学法人、医療法人など新規顧客分野の開拓にも注力し、人事コンサルティングなど幅広いサービスも含めたトータルソリューションサービスを提供

<インソーシング（請負）事業>

- 業務効率向上とコスト削減への意識の高まりから、次期も需要は堅調に推移する見通し
- 受付や総務・庶務事務、コールセンターなどの一括受託のほか、人材派遣形態からの切り替えも増加
- 幅広いサービスラインと実績を強みに提案営業を展開し、潜在的なニーズ掘り起こしと拡販に注力

<人材紹介事業>

- 国内の需要は厳しいものの、一部の専門職種については底打ちの兆し
- エグゼクティブ層やグローバル人材などの紹介を強化するとともに、再就職支援事業と連携した案件獲得などグループシナジーの向上を図る
- 海外では各拠点と日本との連携を更に強化し、在日留学生・在外日本人などの人材流動化を一層推進

再就職支援事業

- 受注は非常に好調で、大幅な売上増を見込む
- 再就職決定までのプロセスに時間がかかる可能性があり、利益ベースでは若干のマイナスを予想

アウトソーシング事業

- 大手企業、官公庁を中心に需要は引き続き堅調に推移する見通し
- ヘルスケア事業では「特定健診・特定保健指導」の実施が義務化されたことを受け、健診予約や保健指導などの大型案件を受託、高い成長を見込む

●事業セグメント別予想（連結・通期）

（単位：百万円／未満切捨）

	売上高	前期比増減	増減率	営業利益	前期比増減	増減率
人材派遣・請負、人材紹介	199,120	1,786	0.9%	3,980	688	20.9%
人材派遣・請負	195,190	3,777	2.0%			
人材紹介	3,930	△1,991	△33.6%			
再就職支援	7,820	2,025	35.0%	970	△55	△5.4%
アウトソーシング	16,140	1,414	9.6%	2,330	194	9.1%
その他	4,390	1,387	46.2%	△230	△242	—
消去又は全社	△3,080	△924	—	△3,510	104	—
合計	224,390	5,690	2.6%	3,540	689	24.2%

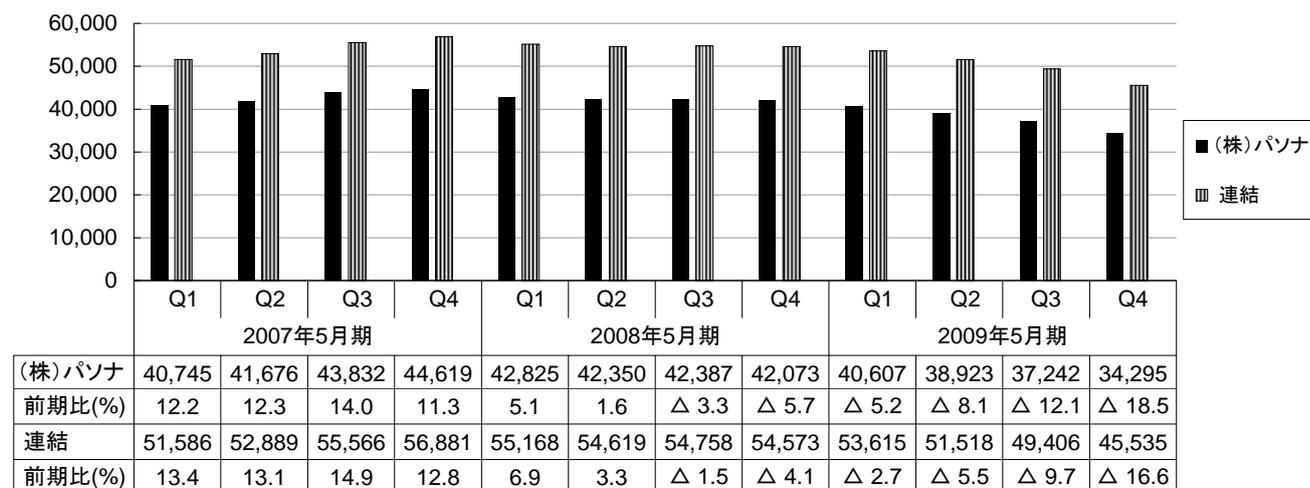
【5】2010年5月期（2009年6月1日～2010年5月31日）配当予想

配当金	2009年5月期			2010年5月期(予想)		
	中間 600円	期末 650円	年間 1,250円	中間 600円	期末 650円	年間 1,250円
配当金総額	215百万円	233百万円	448百万円			—

【6】参考データ

● 派遣長期稼働者数（1ヶ月以上契約の長期稼働者数の四半期毎の単純月平均） 単位：人

※2008年5月期Q1より特別プロジェクト案件の影響が小さくなったためその数値を含む



● 派遣職種別売上高（連結・内部取引消去後）

(百万円)

	2008年5月期	2009年5月期				
		売上高	構成比（前期比増減）	増減	前期比	
クラリカル（一般事務）	112,968	101,518	53.1%	△1.1%pt	△11,449	△10.1%
テクニカル（専門事務）	33,653	31,819	16.7%	+0.6%pt	△1,833	△5.4%
ITエンジニアリング	22,253	21,994	11.5%	+0.8%pt	△258	△1.2%
営業・販売職	18,794	15,312	8.0%	△1.0%pt	△3,481	△18.5%
その他の派遣・請負	20,623	20,154	10.6%	+0.7%pt	△468	△2.3%
派遣付随業務	220	201	0.1%	0.0%pt	△19	△8.9%
合計	208,513	191,002	100.0%	—	△17,511	△8.4%

● 四半期毎業績推移

(百万円)

	2008年5月期				2009年5月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	60,489	59,026	58,250	59,178	59,136	56,950	52,531	50,082
前期比	+7.2%	+4.0%	+1.3%	△2.2%	△2.2%	△3.5%	△9.8%	△15.4%
売上原価	48,373	46,795	45,579	46,825	47,373	45,514	41,976	40,249
前期比	+7.2%	+3.8%	△0.0%	△3.1%	△2.1%	△2.7%	△7.9%	△14.0%
売上総利益	12,115	12,230	12,671	12,352	11,762	11,435	10,554	9,833
前期比	+7.1%	+4.9%	+6.5%	+1.4%	△2.9%	△6.5%	△16.7%	△20.4%
販売費及び一般管理費	10,585	10,688	10,655	10,995	10,902	10,696	9,986	9,149
前期比	+17.2%	+11.1%	+11.4%	+6.5%	+3.0%	+0.1%	△6.3%	△16.8%
営業利益	1,529	1,541	2,015	1,356	860	738	567	683
前期比	△32.8%	△24.3%	△13.5%	△27.1%	△43.8%	△52.1%	△71.8%	△49.6%
経常利益	1,584	1,560	1,994	1,497	909	894	527	1,029
前期比	△33.4%	△22.5%	△15.8%	△26.9%	△42.6%	△42.7%	△73.5%	△31.3%
税金等調整前四半期純利益	1,558	1,478	3,015	948	990	610	11	1,272
前期比	△33.7%	△23.1%	+28.9%	△55.0%	△36.4%	△58.7%	△99.6%	34.1%
四半期純損益	795	268	1,286	612	313	△110	△810	919
前期比	△29.4%	△71.7%	+22.5%	△43.0%	△60.6%	—	—	50.1%

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。